都中数研会報

第147号

編集　東京都中学校数学教育研究会

「数学的活動の楽しさを語り合える研究会へ…」

東京都中学校数学教育研究会会長　榎本 圭志

1　会長就任にあたって

５月13日に東京都中学校数学教育研究会（以下、都中数）運営に関する会が開催され、第48代会長として承認していただきました。

福沢前会長とは、都中数に関わっている全ての先生方が東京都の中学校の数学科教員であり、数学を教えようと教員になった仲間だという話をよくします。私自身採用から34年目となり数学の授業を持つことはなくなりましたが、若手と呼ばれたころ、授業で失敗しては、「次に同じ授業をするときは…」と授業を振り返り改善を考えていたことを思い出します。校内の数学科の先輩方にも助言をいただき育てていただいたと思います。ですから、都中数としても若い先生方を支え、研究部の委員会にもできるだけ多くの先生方に加入していただき、一緒に数学の楽しさを語り、議論し、そして指導力を互いに高め、東京都の中学生の数学の力の向上に努めていきたいと考えています。

2　東京都中学校数学教育研究会の活動

都中数には本誌に紹介されているように研究部に８つの委員会があり、中学校数学教育の指導方法について、導入から評価まで実践的な研究を行っています。年度末には研究発表大会を開催し、各委員会から現場の先生方の指導改善に役立つ実践例の紹介等、研究成果について発表を行っています。併せて、調査部による「数学科指導に関する実態調査」結果の分析・考察・報告も行っています。毎年この内容を研究発表収録としてまとめ、都内全中学校に送付しています。観点別評価が３観点となった時、いくつかの委員会が評価法について研究をまとめましたが、ある地区の先生から実際に学校で活用しているとの声も頂きました。さらに、研究成果を関東甲信静大会や全国大会で発表をする委員会もあります。

また、毎年８月に数学指導技術向上研修会を開催しています。昨年20回目を迎えましたが、令和元年度からは東京都教職員研修センターとの連携研修になりました。主に若手・中堅の都内数学科教員を対象とした研修会ですが、昨年は受講生２、３名に対して指導者２名を割り当て、受講生が持ち寄った指導案について協議し互いの授業力向上を図りました。指導者は数学科の校長・副校長や各委員会の中心メンバーが務めていますが、受講生のアンケートからも高い評価を得ています。

そして、年に２回、私たちの学びにつながる講演会を開催しています。先日の運営に関する会では、文教大学教育学部教授 永田潤一郎先生に「数学的活動の具体化に向けて ～思考の飛び石を活かした指導～」という演題で若手の先生にはすぐに役立つような授業づくりのヒントについてご講演いただきました。（本誌参照）

ところで、平成28年の高大接続システム改革会議「最終報告」により入試改革がなされ、高校入試にも変化があり、中高接続への関心も高まりました。しかし、私たちが指導をする中学生はすでに小学校で算数を学んでいますが、私たち中学校数学科教員は意外と算数指導について知らないことが多いのではないでしょうか。そこで、年度末の研究発表大会では千葉大学教育学部教授 松尾七重先生に小中接続についてご講演（演題未定）をいただく予定です。

都中数は以上の研究活動を進めており、広報部が会報（本誌）やHP[https://www.tochusu.com]で活動を発信しています。ぜひこちらもご覧ください。

3　数学的活動の楽しさを語り合える仲間づくり

私たちは数学を教えたくて教員になった仲間です。都中数を通して数学的活動の楽しさを語り合える仲間を増やし、数学的活動の楽しさを伝える授業を実践し、生徒とも数学的活動の楽しさを一緒に語れるようになったら楽しいだろうなと思います。

目　次

会長挨拶 …… 1
講演会要旨（５月13日） …… 2
各委員会の活動計画 …… ３～４
数学指導技術向上研修会の告知 …… 5
全国算数・数学教育研究（青森）大会 …… 6
関東甲信静数学教育研究（神奈川）大会 …… 6
地区だより（江戸川区・国立市） …… 7
総会報告 …… 8

令和５年度東京都中学校数学研究発表会（令和５年５月13日）講演要旨

文教大学教育学部 教授　永田 潤一郎

数学的活動の具体化に向けて ～思考の飛び石を活かした指導～

１　学習指導要領と数学的活動

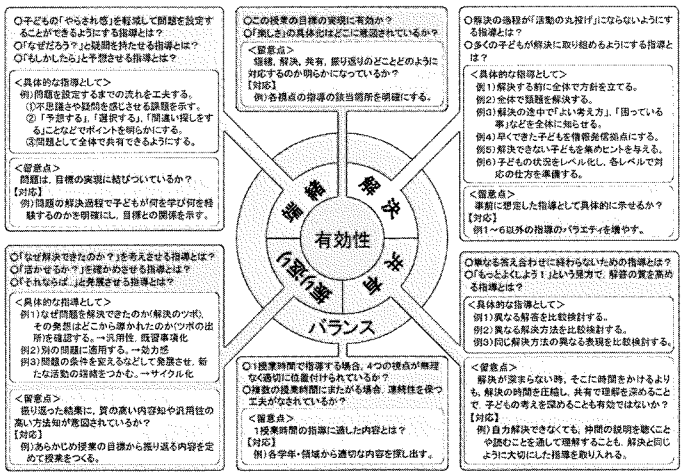
現行学習指導要領は、子どもたちの生きる未来を変化が加速度を増し複雑で予測困難な社会と見定め、「生きる力」の育成の必要性を改めて確認している。また、その実現には「生きる力」の共通理解が欠かせないとし、「三つの柱」に沿った資質・能力として再整理した。そして、その資質・能力を子どもが身に付けられるようにするには、各教科等の指導を通じて「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善する必要があると指摘している。これを受けて算数・数学科では、数学的活動を通してその実現を図るようにすることが学習指導要領に明記された。つまり、数学的活動は学習指導要領の趣旨の実現の肝心要を担っているのである。

２　６つの視点に基づく授業デザイン

ところで、数学的活動は現行学習指導要領が生み出した新しい概念ではない。学習指導要領上の記述としては既に20年の歴史がある。そして、その歴史と共に目指しているのは「考えることの楽しさ」の実現である。

唐突だが、あなたの数学の授業は、考えることが楽しくなるような授業だろうか？子どもにとって考えることが楽しくない授業で、思考力・判断力・表現力等を育成することは可能だろうか？

授業の中で子どもの考えることの楽しさを生み出すためには、教師の意図的な仕組みづくりが欠かせない。その「仕組みづくり」ができるかどうかで、教師の指導の腕が試される。その腕を上げるための一助として、私が提案しているのが「６つの視点に基づく数学的活動の授業デザイン」であり、概要は次の図の通りである。詳しくは参考文献を参照されたい。



３　思考の飛び石を活かした指導

６つの視点に基づく授業デザインでは、それぞれの視点から、教師がどのような指導を選択できるかが重要になる。指導の目標や内容、子どもたちの学習の状況などに応じて、適切な指導の方法を使い分けることが優れた教師の要件なのである。ここではそのひとつとして、６つの視点のうち解決の視点からの指導で有効な「思考の飛び石を活かした指導」を紹介したい。

思考力・判断力・表現力等の育成を目標とした授業では、教師の「考えてみよう」という子どもへの呼びかけがよく聞かれる。その気持ちはよく分かるのだが、ちょっと考えてみて欲しい。教師に「考えてみよう」と言われただけで考えられる子どもは、あなたの学級にどのくらいいるだろうか。前述した通り、教師に求められているのは「考えてみよう」を連呼することではなく、子どもが考えられるようにする意図的な仕組みづくりである。そこで、教師が目指す目標を実現するために、子どもに解決させたい問題と共に、不十分な正答や誤答を「思考の飛び石」として与えてみたらどうだろう。ゼロからはなかなか考えられない子どもが、考えるための土俵に上がる手助けになるのではないだろうか。

教師は数学的活動を通した指導だと思っているけれど、実際には子どもに考えさせたり話し合わせたりするばかりで、教師の期待する解答が出てくるまでひたすら待ち続けるだけ…そんな指導に疑問を感じたときに効果を発揮するはずである。その詳細に興味を持って頂けたのであれば、是非参考文献をご一読頂きたい。

参考文献

・永田潤一郎「数学的活動をつくる」、東洋館出版社、2012
・永田潤一郎「中学校新学習指導要領 数学的活動の授業デザイン」、明治図書、2018
・永田潤一郎「板書&展開例でよくわかる 数学的活動でつくる365日の全授業 中学校数学」全６巻、明治図書、2021
・永田潤一郎「数学的活動の授業デザイン ステップアップ『思考の飛び石』を生かした授業づくり」、明治図書、2022
・永田潤一郎「『365日の全授業』DX 中学校数学」、明治図書、2022
・永田潤一郎「令和版 数学科の授業づくり はじめの一歩」全３巻、明治図書、2023

令和５年度　各委員会の活動計画

数式委員会

「主体性を育てる指導の工夫」
～自ら見通しをもつことのできる生徒の育成～

本年度は、このテーマで、①生徒に考えさせる②生徒に自分の言葉で説明させる③問題を解くに当たって見通しをもたせる④生徒に予想させ自分の言葉で説明できるようにするなど、授業実践の研究をしていきます。

まず、年度当初、数学や数学の問題にどう向き合っているのかに関する意識調査のアンケートを取り、その結果を踏まえ、授業実践をし、意識がどう変わっていくのか調べ研究していきます。

委員会は、基本的に月に１度不定期に開いています。今年度はリモートで開催出来る日を多くもちたいと考えています。

研究テーマの内容や数式領域だけにこだわらず、日々の授業に使える教材の提案や学習指導要領や新しい評価に関する情報交換なども、積極的に行っています。

（文責　神津島村立神津中学校　伊藤 晴美）

教育課程委員会

主体的･対話的で深い学びの実現に向けた指導

本委員会では、毎月１回の定例会を基本に活動しています。単元や領域にこだわらず、生徒が躓いていることや、教師が授業を行う上で困っていることなどを取り上げて、研究を行っています。

主体的･対話的で深い学びをテーマにした研究も３年目となります。今年度は、数と式領域から、文字を用いて数の性質を説明する課題を取り上げています。３つの続いた整数の和や、２つの偶数の和などの問題が多く扱われていますが、その正答率は決して高くない状況です。適切な対話場面を設定し、文字をどのように利用すれば良いか、目的の式を得るためにどう式変形すれば良いのかを見出させ問題解決することを目指します。更には、問題の条件などを変えて見直すことで統合的･発展的に考えるようになり、深い学びにも繋がるものと考えています。

（文責　大田区立羽田中学校　諏佐 佳典）

図形委員会

今年度の活動について

図形委員会では、これまで図形領域における学習指導案の検討や授業研究、生徒の実態調査等の分析に取り組んできました。昨年度は根拠を明らかにして説明する力を身に付けさせる指導をテーマに掲げ、生徒から多様な考えが出せるものとして、第２学年「多角形の内角の和」を題材として扱い、レディネステスト、指導案検討、授業研究を行い、指導の工夫改善を目指すことをねらいとしました。

今年度はさらに発展的な問題の証明指導を徹底できるよう、第２学年「三角形と四角形」を題材として、調査問題を作成し、その結果に基づいて委員全員でアイディアを持ち寄り、意見を出し合いながら、よりよい指導案を作成し、授業研究を行っていきます。

図形指導をはじめ、数学教育への興味や関心をお持ちの皆様にぜひご参加いただき、委員会の活動を活発にしていただけたら幸いです。

（文責　杉並区立向陽中学校　加藤 尚代）

確率統計委員会

これまでの研究をふり返り、
ブラッシュアップした授業提案

私たちはこれまで、主に確率統計分野における教材を考え、実践してきました。昨年度は、ICTを活用した授業で、フィックス錯視を利用した授業案の提案をしました。

今年度は、私たちの過去の教材開発や研究･発表をふり返り、ICTの活用が今ほど活発ではなかったときに提案した授業案や、その授業の内容について、データを更新しながら、今の時代にあった授業案を提案できればと考え、研究を進めています。確率統計委員会のメンバーは、若手、中堅、ベテランと年齢層が厚く、また所属地域も区部、市部、島しょ、中等教育学校と多岐にわたります。なかには, 小学校や高等学校での勤務を経験した方もいらっしゃいます。それぞれの学校事情を共有しながら、多くの学校で実践できる授業や教材について考えていきます。今年度は、委員会の開催日を概ね決定しています。オンラインでの参加も可能です。少しでも興味をもたれた先生がいましたら、ぜひ一度お越しください。ご連絡をお待ちしています。

（文責　中野区立中野東中学校　橋本 麻衣子）

評価委員会

授業の中での観点別評価の見取り方について（1）
～ペーパーテスト以外の場面で、評価をどう見取っていくか～

評価の観点が３観点に変わり２年が経過しました。本委員会では、主に「主体的に学習に取り組む態度」の観点についての評価を、授業実践と授業での生徒のワークシートの反応例を示しながら、評価基準表（ルーブリック）を作成してきました。

今年度は、生徒の学習状況を「記述」という方法以外で集めること（例えば「聞き取り」テストや「発話思考法」を用いての評価など）や授業の中でリアルタイムに「主体的に学習に取り組む態度」を見取るにはどうすればよいか等、「評定」のための「評価」ではなく、「指導と評価の一体化」という視点で「評価」を考えていきたいと思っています。

都中数のホームページに開催の案内を出していますので、少しでも興味や関心をもたれた先生がいましたらご覧ください。一緒に学んでいきましょう。

（文責　足立第十四中学校　湯浅 浩）

関数委員会

変化の割合の概念・意味の指導

昨年度は、中２「変化の割合の素地的な学習」について、ICT機器の可能性を探りつつ観察し、関数とみなして考えることを主眼に置いた指導案を作成し、昨年９月に研究授業を行いました。

本年度は、「変化の割合の素地的な学習」について、変化の割合の概念や意味を理解するために、日常場面の問題を取り上げるとともに、ICTや教具の可能性を探りつつ、この活動を通して、関数の値の変化の割合の概念や意味の理解をする指導案を提案していきます。また、２学期には、作成した指導案の研究授業も行っていきます。

今後はこれまでの研究をもとに、関数の指導計画をよりよいものに改善したいです。また、指導にICT機器や教具の利用を取り入れつつ、数学的に解決できる能力を養えるような指導計画の改善や指導案の作成を行い、実証的に研究を進めていく予定です。都中数のHPにも研究成果を掲載していますので、ぜひ御覧ください。

（文責　江戸川区立清新第一中学校　菅田 圭一）

導入法委員会

「誤差や近似値」指導における実践例

本委員会では、さまざまな単元や領域において、日頃の授業に役立つ教材づくりを目指し、実践を中心とした研究を進めています。

今年度は、第３学年の「誤差や近似値」の指導について研究します。学習指導要領では領域『A数と式』に位置付けられていますが、相似な図形の性質や三平方の定理を用いる場面など「『B図形』の（1）や（3）などの学習と関連付けて指導することが考えられる」ともあり、教科書によっても扱う領域はさまざまです。本委員会では、この内容について教科書会社による扱い方の違いなどを調査し、当該領域で扱う場合の適切な指導方法や、生徒がこの内容を学習する必要性を実感しながら主体的に学習にのぞめるための発問の工夫などを、検証授業を通して提案します。

また、「指導と評価の一体化」を推進するにあたって、第Ⅲ観点を中心とした評価の在り方について、昨年度に引き続き各校の情報交換をしながら議論していく予定です。

（文責　世田谷区立緑丘中学校　石川 寛樹）

指導法委員会

昨年度はレポートの課題としてふさわしいものについて検討し、指導と評価の視点を作成する、実践を重ねることにより、視点の作成のコツを明確にして、どのような課題でも作成しやすくなるようにしていく予定でしたが、思うように委員会を開くことができませんでした。

今年度は、指導法委員会を休会とし、他の委員会に参加し、合同で研究を進めていくことを検討しています。

（文責　足立区立谷中中学校　古庄 恵実）

令和５年度
数学指導技術向上研修会を開催します

数学指導技術向上研修会は今年で21回を迎えます。本研修会は、各学校の教育活動の充実に資するため、数学科教員の指導技術、専門性の向上を目指し実施しています。特に令和元年度からは東京都教職員研修センター（以下、研修センター）との連携研修となり、都立高校・都立特別支援学校からの参加者も含め、若手教員だけでなく中堅教員の参加も増えています。

昨年は、２年ぶりに対面式での開催となり、36名の受講者が参加しました。全体会の後、事前アンケートを参考に14班のグループに分かれ、受講者が持参した指導案について協議し、助言者からの指導・助言を行いました。そして最後の全体会では４名の講師の方からご指導をいただき、研修センターによる受講者アンケートでは全ての項目で肯定的意見が100％となりました。

今年度も以下の要領で研修会を実施いたします。
※研修センターを通した募集のみで１回目の募集はすでに終了しています。追加の募集の有無については、マイキャリアノートでご確認ください。

１　研修名　【数学Ⅰ】（学習指導案作成演習）
数学科指導スキルアップ講座(中学校)
－数学科　授業づくりの基礎・基本－
[研修番号　４２２１]

２　対　　象　東京都公立中学校及び特別支援学校の若手から中堅の数学担当教員

３　主　　催　東京都中学校数学教育研究会
東京都教職員研修センター

４　実施方法等
第１回　令和５年６月下旬～７月21日（金）
動画視聴（指導案作成に向けて他）
第２回　令和５年８月18日（金）
13:30 ～ 16:30
会場：北区立王子桜中学校
ゼミ形式で数人を１グループとして、各グループに講師がつきます。

５　募集人数　50名

６　内　　容　・受講者は本人の課題に基づいた学習指導案を事前に作成する。
・受講者を少人数のグループに分け、各グループで学習指導案を検討・協議する。
・各グループで講師から指導・助言を受ける。

７　講　　師　東京都中学校数学教育研究会のOB・現役役員・各委員会委員等

都中数の委員会には誰でも加入できます

都中数では研究部の中に８つの委員会があり、数学指導に生かせる実践的な内容を計画的に研究しています。

詳しくお知りになりたい方は、次の各委員会の代表者までお気軽にご連絡ください。

○数式委員会（会場：中野区立教育センター他）
伊藤 晴美 先生
（神津島村立神津中学校　04992-8-0585）
○図形委員会（会場：台東区立御徒町台東中学校）
加藤 尚代 先生
（杉並区立向陽中学校　03-3302-2989）
○教育課程委員会（会場：豊島区立駒込中学校）
諏佐 佳典 先生
（大田区立羽田中学校　03-3744-3351）
○確率統計委員会（会場：中野区立中野東中学校）
菅 亮太 先生
（神津島村立神津中学校　04992-8-0585）
○評価委員会（会場：台東区立御徒町台東中学校）
湯浅 浩 先生
（足立区立第十四中学校　03- 3899-1191）
○導入法委員会（会場：杉並区立神明中学校）
石川 寛樹 先生
（世田谷区立緑丘中学校　03-3303-7331）
○関数委員会（会場：北区立滝野川紅葉中学校）
菅田 圭一 先生
（江戸川区立清新第一中学校　03-3878-1281）
○指導法委員会（未定）［令和5年度 休会を検討中］
古庄 恵実 先生
（足立区立谷中中学校　03-3620-6662）

また、委員会のこと全般についてお聞きになりたい方は、研究部委員会担当役員　中野区立緑野中学校副校長　堀 孝浩（03-3386-5423）までご連絡ください。皆様からのご連絡をお持ちしています。

第105回 全国算数・数学教育研究（青森）大会

1 研究主題

「学びを社会に生かす教育を目指して
－子どもがつくる算数・数学授業の創造－」

2 日程

令和５年８月７日（月）～８月10日（木）

3 会場

オンライン（Zoom）開催

4 概要

８月７日（月）
○講習会（中学校）
文部科学省　水谷 尚人 先生
筑波大学　蒔苗 直道 先生
岩手大学　佐藤 寿仁 先生

８月８日（火）
○講習会（中学校）
山梨大学　清水 宏幸 先生
静岡大学　柗元 新一郎 先生
東京学芸大学　太田 伸也 先生

８月９日（水）
○開会式
○全体講演
八戸市立市民病院院長　今 明秀 先生
○シンポジウム

８月10日（木）
○分科会Ⅰ、Ⅱ
○閉会式

5 申し込み

全国大会Webサイト
https://www.sme.or.jp/conference/national/
７月24日（月）24時締切

第78回 関東甲信静数学教育研究（神奈川）大会

○大会主題

「主体的・対話的で深い学びの実現
～これからの社会を創造する数学的に考える
資質・能力の育成～」

○日程　令和５年11月２日（木）
○会場　栄公会堂
○記念講演　10:20 ～ 11:30
一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事
妹尾 昌俊 先生
○公開授業・授業研究会・分科会　13:25 ～ 17:00
中学校部会会場　横浜市立日野南中学校

大会Ｗｅｂサイト（令和５年６月まで）
https://www.jinsuren.org/
（令和５年７月からは大会サイト稼働予定）

令和５年度 東京都中学校数学教育研究会 役員

会　長　榎本 圭志（国分寺市立第一中学校）
副会長　柳澤 忠男……庶務部長
（板橋区立板橋第二中学校）
〃　奥秋 直人……研究部長
（荒川区立第九中学校）
〃　南 英昭……調査部長
（文京区立第十中学校）
〃　山本 周一……広報部長
（府中市立府中第一中学校）
〃　草開 宣晶……会計部長
（世田谷区立用賀中学校）
監　事　竹山 正弘（武蔵野市立第三中学校）
〃　秋野 宏之（国分寺市立第二中学校）
庶　務　塚本 桂子……庶務事務局長
（新宿区立西早稲田中学校）
〃　大久保 和彦……庶務副部長
（江戸川区立松江第三中学校）
〃　上村 諭（中野区立第七中学校）
〃　林 謙太郎（葛飾区立亀有中学校）
〃　諏佐 佳典（大田区立羽田中学校）
〃　菅田 圭一（江戸川区立清新第一中学校）
研　究　西野 和之……研究副部長
（江東区立亀戸中学校）
〃　井上 隆（清瀬市立清瀬第三中学校）
〃　梶原 孝恒（東久留米市立大門中学校）
〃　杉田 善明（葛飾区立葛美中学校）
〃　吉田 裕行（世田谷区立砧南中学校）
〃　秋葉 養（江戸川区立葛西中学校）
〃　堀 孝浩……委員会担当
（中野区立緑野中学校）
調　査　高林 敏彦……調査部副部長
（世田谷区立奥沢中学校）
〃　佐藤 太（港区立御成門中学校）
〃　植木 清（江戸川区立葛西第二中学校）
〃　蓮沼 喜春（小金井市立緑中学校）
広　報　村田 浩文……広報副部長
（板橋区立赤塚第一中学校）
〃　杉田 正穂（練馬区立大泉学園中学校）
〃　高山 琢磨（港区立港南中学校）
〃　菅原 亮……ＨＰ担当
（稲城市立稲城第一中学校）
会　計　青海 正……会計副部長
（大田区立志茂田中学校）
〃　石綿 健一郎（世田谷区立深沢中学校）
〃　西川 慶介（世田谷区立砧南中学校）
参　与　小島 宏一郎（大田区立糀谷中学校）
〃　福沢 俊之（台東区立御徒町台東中学校）

地区だより

＜江戸川区＞

江戸川区教育研究会数学部会

1　研究主題

「主体的･対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫･改善と教員個々の授業力向上」

「タブレット端末を使った効果的な授業の研究」

2　主題設定の理由

令和２･３年度は、コロナ禍で授業での制限があり、「主体的･対話的で深い学び」の実現が難しくなっていたため本主題を設定した。また、１人１台のタブレット端末が配備されたが、教員それぞれスキルに差があるため、活用スキルの向上を図るため本主題を設定した。

3　研究の経過及び内容

（1）6月 第１回一斉研究日

葛西中学校 指導教諭 秋葉養先生の授業動画を全数学部員で視聴し、グループワークを実施した。授業動画では、秋葉先生から指導内容の説明や指導理由など解説をいただきながら視聴した。グループワークでは、付箋を用いて全数学部員参加型の協議を実施した。指導･助言者として、荒川区立第七中学校 校長 奥秋 直人先生をお招きし指導･助言をいただいた。

（2）2月 第２回一斉研究日

清新第一中学校 指導教諭 菅田圭一先生の授業動画を全数学部員で視聴し、グループワークを実施した。形式は第１回同様に行った。指導･助言者として、世田谷区立用賀中学校 校長 草開 宣晶先生をお招きし指導･助言をいただいた。

（3）2月

学習評価の在り方について、各校でまだまだ課題があるように思われるため、各校に「新３観点の学習評価完全ガイドブック」を配布した。

4　まとめと今後の課題

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、例年とは異なった内容で実施した。特に、第２回は３ブロックでの授業研究を予定していたが、数学部員約150名（１ブロック平均50名）と非常に多い人数のため授業動画とした。２人の指導教諭の授業から「主体的･対話的で深い学び」の実現･タブレット端末の効果的な活用等、学ぶこと･参考になることが多く有意義な研究となった。今後も有意義な企画を立て実施していきたい。

＜国立市＞

国立市立小･中学校合同授業研究会算数･数学部会

1　研究主題

「主体的･対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

－主体的に学習に取り組む態度の見取りと価値付けを通して－」

2　主題設定の理由

令和３年度合同研 算数･数学部会では、学習活動を通して児童･生徒に学習に向かう姿勢や態度について価値付けることもでき、成果を挙げることができた。一方で主体的に学習に取り組む態度の粘り強く取組を行おうとしている側面や、学習を調整しようとする側面を具体的な姿として示すことができなかった。具体的な姿を示し、その姿を教員が見取り、価値付けることが大切だと考えた。そこで主題を昨年度に引き続き「主体的･対話的で深い学びの実現に向けた授業改善―主体的に学習に取り組む態度の見取りと価値付けを通して―」として授業改善を進め、研究を更に深めることにした。

3　研究の経過及び内容

①　4月20日（水）　研究テーマの検討

②　5月25日（水）　指導案検討（算･数部会）

③　7月21日（水）　指導案検討（算･数部会）

④　9月7日（水）　指導案検討（算･数部会）

⑤　10月19日（水）　研究授業（中学校部会）

授業者：国立第二中学校 教諭　折戸 拓海

第１学年「文字と式」

⑥　1月18日（水）　まとめ（算･数部会）

4　まとめと今後の課題

主体的に学習に取り組む態度を見取る手段として、振り返りシートの活用が有効であった。特に、発言や態度から見取れなかった生徒の学習を深めた様子等を見取ることができたことは成果である。また、教材を、日常生活に関わるものから設定したり、提示の仕方を工夫したりすることで、主体的に学習に取り組む姿を多く見ることができた。

課題としては、主体的に学習に取り組む態度を価値付ける場面や方法について、部会での協議が不十分であった。主体的に取り組む態度の育成に向け、検討していくことが必要である。

令和５年度　東京都中学校数学教育研究会　総会報告

東京都中学校数学教育研究会は、５月13日(土)に、練馬区立開進第二中学校セミナーハウス(松山館) で、令和５年度の総会を開催しました。令和４年度の事業報告、決算・監査報告および、令和５年度の役員、事業計画、予算が承認され決定しました。

総会次第

1　開会の辞
2　会長挨拶・来賓紹介　(会長　福沢 俊之)
3　来賓代表挨拶
4　議長選出
5　議事
　(1)令和４年度　事業報告
　(2)令和４年度　決算・監査報告
　(3)令和５年度　会長・副会長　選出承認
　(4)令和５年度　役員　選出承認
　(5)令和５年度　事業計画案審議
　(6)令和５年度　予算案審議
6　新会長挨拶　(新会長　榎本 圭志)
7　閉式の辞

総会後に文教大学教授 永田 潤一郎 先生よりご講演をいただきました。(講演の要旨は本誌２ページに掲載)

令和５年度　事業計画

令和５年度の事業として、庶務部、会計部、研究部、調査部、広報部の各部は、会則第５条に従って、下記の事業を行う。

なお、平成23年度より、東京都の研究推進団体の認定に伴い、研究部各研究委員会は、活動の中で、東京都教育委員会指導主事と連携するなどして、「学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導の改善」に向けた研究推進を図る。

1　運営に関する会・講演会の開催
　日時：令和５年５月13日(土)14:00 ～ 16:45
　会場：練馬区立開進第二中学校 セミナーハウス
　　(松山館)

2　数学指導技術向上研修会の開催
　日時：令和５年８月18日(金)13:30 ～ 16:30
　会場：北区立王子桜中学校
　　(東京都教職員研修センターとの連携研修)

3　第61回研究発表大会の開催
　日時：令和６年２月17日(土)13:30 ～ 16:55
　会場：新宿区立西早稲田中学校(予定)

4　研究大会への参加
　令和５年11月２日(木)
　第78回関東甲信静数学教育研究(神奈川)大会への参加協力
　[図形委員会、確率統計委員会、関数委員会が発表予定]

5　その他
　(1)上記の他、運営に関する会・理事会などで決定された事項について、本会の目的達成のために必要な事業を行う。
　(2)運営に関する会・講演会、役員会、理事会、研究発表会等の開催日程は、以下の通りとする。
　　①　令和５年５月13日(土)　役員会、理事会、運営に関する会・講演会
　　②　令和５年７月14日(金)　役員会
　　③　令和５年８月18日(金)　数学指導技術向上研修会
　　④　令和５年９月15日(月)　役員会
　　⑤　令和５年11月13日(金)　役員会
　　⑥　令和６年２月17日(土)　第61回 研究発表大会
　　⑦　令和６年３月６日(金)　役員会
　　⑧　令和６年４月　役員会(日程調整中)

□発　行　日　令和５年７月10日
□発　行　者　東京都中学校数学教育研究会
□会　　長　榎本 圭志(国分寺市立第一中学校)
□編集責任者　広報部長　山本 周一
　(府中市立府中第一中学校)
　府中市幸町１-22
　042-361-9301